



# 消費税が10%になると税抜き消費支出は2割も減る！？

2人以上世帯の 実質家計消費支出		2013年 A	2018年 B	B/A
実質家計消費支出	万円	363.6	338.7	93%
消費税率		5%	8%	
消費税分	万円	17.3	25.1	145%
税抜き消費支出	万円	346.3	313.6	91%

二〇一九年度の国家予算が成立。十月から消費税を10%に増税することを織り込んで。政府は景気は一部に弱さが見られるが緩やかな回復基調と云う。庶民の生活は・・・左の表を見て欲しい。二〇一四年に消費税が8%に引き上げられた。実質家計消費支出は、三六三万円が三三三万円に減少。ここで、総務省統計局の「家計調査のしくみと見方」を見ると「消費支出には消費税が含まれる」。そこで、計算してみる

と税抜き消費支出は91%に減っていた。政府が緩やかな回復と云っても、庶民は買える物が一割減って景気は悪くなったと感じたのだ。消費税が上がると、これから類推すると、消費税が10%になると、税抜き消費支出＝実際に買える物は1割減り、二〇一三年の8割程度になりそう。店内食か店外食かで税率を変えたり、カードでの還元等、大混乱に庶民の目を向け、消費税引き上げから目を逸らすのがアベの狙い？

そもそも庶民は収入の大部分が消費支出。ところが大金持ちは土地や株など消費税対象外の支出が多い。消費税が上がっても影響が少ないのだ。

あなたはこう思われますか？

## 大倉山記念館

神奈川県横浜市港北区大倉山

二〇一七年九月



2017年の写生会で

横浜から東横線に乗って渋谷に向かうと、各駅停車で六つ目の駅が大倉山駅だ。線路の左側(西側)に小高い丘がある。その辺りの地名が大倉山。

縄文時代にはこの近くまで海。この丘が動物の太い尾のように海に突き出たという。その為、太尾町と呼ばれた。今でも「太尾小学校」等がある。そして丘は観音山と呼ばれていた。

その地が大倉山町に変わって行った。

それは実業家で東洋大学学長だった大倉邦彦が昭和初期に大倉精神文化研究所を創ったから。

ギリシャ風の研究所の建物が昭和の終わり頃、横浜市に寄贈され大倉山記念館となった。ホールやギャラリー、会議室がある。

